

地方独立行政法人長野市民病院第4期中期目標(案) に対するパブリックコメントの集計結果

1 意見募集の結果

- (1) 実施期間 令和7年8月27日（水）～9月16日（火）
- (2) 閲覧方法 医療連携推進課、市民病院、行政資料コーナー、各支所の窓口ほか、ホームページにも掲載
- (3) 提出方法 書面（持参、郵送、FAX）、電子申請及び電子メール
- (4) 募集結果 5件
- (5) 対応方針

区分	対応内容	件数
1	（案）を修正する。	1
2	（案）に盛り込まれており、修正しない。	0
3	（案）は修正しないが、今後の検討課題又は参考とする。	0
4	検討の結果、（案）に反映しない。	1
5	その他（質問への回答、状況説明など）	3
合 計		5

2 意見に対する対応方針（案）

番号	ページ	中期目標の項目	意見の概要（要旨）	市の考え方	対応方針
1	—	—	車を持たない世帯にとって、公共機関を使い通院するには困難な場所に位置するため、長野駅から徒歩圏内に、内科・耳鼻咽喉科・小児科・産科婦人科があり手術可能な分院を早急に建設すべき。 また、様々なクリニックを1箇所に集めた医療モールを市内に複数箇所設けるべき。 精密検査や手術・入院可能な脳神経外科や整形外科を増やす必要性がある。	地域の医療体制は、各医療機関が診療科や入院・外来などの役割を分担するとともに、患者の紹介など相互に連携することで成り立っています。 長野市民病院は、本市の北東部における救急医療をはじめとする急性期医療等を担っており、長野駅周辺には、基幹病院である長野赤十字病院のほか複数の医療機関が立地していることから、市民病院分院の建設については、現時点では考えておりません。 また、中期目標は、市民病院が達成すべき業務運営等に関する指針であり、ご提案のような医療モールなどの設置については盛り込んでいません。	検討の結果、（案）に反映しない。
2	2	がん診療	がんに関する情報や健康・医療に関する情報を得やすくするために、院内に図書室の設置や図書サービスの利用を検討していただきたい。相談支援センターだと敷居が高く、単に情報を得たい場合には利用しにくく感じる。 病気になって初めていろいろ調べるが、ネット上には怪しい情報もあふれていて、患者はどんどん不安になる。院内で正確な情報を得ることができれば、身体的な不安の軽減に加え、精神的な不安の軽減にもつながる。 市立図書館の「健康、医学」に関する図書を院内でも利用できるようにするなど、地域図書館との連携も含めて検討してもらえないか。 がんゲノム医療が進むと、ますます個別化医療が求められる。大都市での高度ながん治療と、地域のがん治療との格差が生じないように、治験、希少がんへの対応も含め、できるだけ慣れ親しんだ市民病院で治療が受けられるよう、関係医療機関との連携をお願いしたい。	図書コーナーについては、令和4年まで院内に設置していましたが、利用者の減少等に伴い閉鎖しました。なお、がんに関する冊子や図書については、がん相談支援センター内に設置しておりますので、引き続きご利用いただけるということです。また、がん相談支援センターでは、がんに係る相談を広くお受けしています。 市立図書館との連携については、市民病院は急性期病院であり入院期間が短いことなどから、難しいと考えます。 市民病院は、「地域がん診療連携拠点病院」の指定を受け、地域の医療機関と連携してがん診療にあたっています。また、がんゲノム医療を地域で円滑に提供するための役割を担う「がんゲノム医療連携病院」として、中核拠点病院（高度なゲノム解析・治療方針決定を行う病院）と連携してがん診療にあたっています。 引き続き、関係医療機関と連携して都市部と同等のがん治療を提供してまいります。	状況説明
3	4	医療提供体制の充実	がん患者を含む終末期を迎える患者について、患者と家族の希望や意思を尊重した医療の提供をお願いしたい。他院への紹介（転院）ではなく、市民病院で終末期を迎えたいと希望する患者に寄り添えるよう、より一層の緩和ケア内科（病棟）、訪問看護ステーションの拡充など体制の拡充を検討いただきたい。	市民病院は急性期病院として、重症患者や緊急性の高い患者さんに迅速かつ高度な医療を提供するとともに、急性期の治療が終わってからは、患者さんの状態に応じ、地域の医療機関へ紹介を行う役割を担っています。緩和ケアに特化した診療については、緩和ケア専用病棟と専門的知識及び経験を有する他の医療機関と連携を図ることで、患者さんにとって最善と思われる医療を提供してまいります。	状況説明

番号	ページ	中期目標の項目	意見の概要（要旨）	市の考え方	対応方針
4	5	地域との連携推進	地域住民だけでなく、患者や患者の家族、訪問看護利用者などすべての利用者を含めた意見交換の機会を設けてほしい。 院内にドトールが併設されたのは、院内の雰囲気も明るくなり、病院利用者や見舞客にとっても利便性もよく、地域に開かれたとても良い試みだと思う。連携できる民間企業やテナントショップがあればこれからも検討していただきたい。（退院時に必要になる介護用品やケア用品の販売など）	市民病院では、患者さんやご家族などすべての利用者からご意見をいただけるよう院内にご意見箱（「皆さまの声」）を設置し、ご指摘や要望について改善に取り組んでいるほか、市民健康講座や患者会を定期的に開催し、意見交換を行うなどより地域に根差した病院運営に努めています。 ご意見を踏まえ、「患者さんや利用者の意見を踏まえ、患者満足度の向上に努めること」を中期目標に追記します（中期目標3ページ「快適性及び利便性の向上」を修正）。 また、テナントショップなど民間企業との連携については、中期目標に「快適性及び利便性の向上」が盛り込まれておりますので、今後の参考としてまいります。	（案）を修正する
5	6	持続可能な経営基盤の確立	長野市民病院は長野市民だけでなく、須高地域の市民にとっても欠かせないがん拠点病院となっています。今後、将来にわたって収益改善の見込みが難しい場合には、医療の質、体制確保に向け、周辺自治体から一定割合の拠出金を求めるなど、地域で支える仕組みを検討してはどうか。	長野市民病院は、長野市が全額出資して設立した地方独立行政法人であり、地方独立行政法人法の規定により、救急医療等の不採算医療に要する経費や、がん診療など高度医療に要する経費は、設立団体である市が一部を負担していますが、それ以外の経費は診療報酬等の収入をもって充てることとされています。 第4期中期目標（案）では、持続可能な自立した経営基盤の確立に向け、経営強化プランに沿って、更なる経営の健全化に取り組むことを法人に求めており、周辺自治体に拠出金の負担を求めることは予定しておりません。	状況説明

3 今後の中期目標策定スケジュール等

日程	内容
10月3日（金）	市民病院評価委員会（修正案の審議・決定）
10月29日（水）	部長会議（パブコメ結果報告／中期目標の決定）
11月5日（水）	市議会政策説明会（同上）
12月	12月市議会（議案提出／議決）
12月（議決後）	市民病院に中期目標を指示